

東高校で「東魂祭」

テーマは「絆〜心をひとつに」

金沢学院東高校の学校祭「東魂祭」は文化祭が9月3、4日、体育祭が10日、「絆〜心をひとつに」をテーマとして、にぎやかに開かれました。今年の文化祭は4日が一般公開となり、後援会によるバザー、金沢山里朝市回廊連絡会による地元の新鮮野菜、加工品の販売コーナーが初めて設けられ、学校と保護者、地域との『絆』を深めました。



1年生が制作した「絆〜心をひとつに」の横断幕が文化祭会場を彩る



2年生によるステージ



後援会が協力したバザー

文化祭の特設ステージは、2年生によるダンス、創作劇、パフォーマンス

のほか、邦楽部や吹奏楽部、和太鼓部の演奏、女装コンテストなどで盛り上がりました。模擬店は、3年生が中心となり、焼きうどんやかき氷などを割安で販売しました。各教室には、お化け屋敷や射的コーナー、コスプレ写真館などが設けられ、生徒らの歓声に包まれました。

縦割りチームで熱戦

体育祭は3学年が縦割り、赤、青、黄、緑の4つの団に分かれて熱戦

マダガスカルに運動用具贈ろう

本学3年の山本さん 中古品募る



金沢学院大スポーツビジネス学科3年の山本紋子さん(35) 写真右は中古運動用具を回収し、マダガスカルの子供たちに贈る支援活動に取り組んでいます。

を繰り広げました。出場選手らに対して、各団は『心をひとつに』して声援を送りました。



騎馬戦に汗を流す生徒

山本さんはスポーツ関連の社会貢献活動をしたいと考へ、南野公祐さん(20) 写真左から同級生の協力も得て、6月から学内の運動部を中心に中古運動用具の提供を呼びかけてきました。10月16、17日の学園祭「清鐘祭」ではブースを設けて来場者にも協力を求め、コンテナ1台分の用具が集まった時点で発送する予定です。

短大生が欧州研修

金沢学院短大の平成22年度海外研修「ロンドン・パリ」2大都市を巡る旅が9月6日から14日まで行われています。渡欧に先立ち、出発壮行会が8月31日、学内で開かれ、参加する学生10人に榎木裕学長から研修助成金が手渡されました。写真。参加学生を代表して浅永美紀さん(ライフデザイン総合学科2年)が「歴史と伝統のある欧州で、いろいろなことを吸収していきたい」とお礼を述べました。



Tシャツを装飾

金沢学院短大の公開講座「デザインデコTをつくる」は8月20日、5号館造形実習室で開かれました。参加者は色とりどりのビーズで、Tシャツに星型やハート型の装飾を施しました。